

# 国語 力だめし1 出題の趣旨と解答・解説

課題1 文章に表われているものの見方や考え方を四字熟語を手がかりにして読む。

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

これは、ある高校の弱小野球部が、たった1年で全国大会で優勝する物語である。主人公は、野球部のマネージャー。彼女は、チームを全国大会で優勝させるために立ち上がる。しかし自分の思いを話しても、部長たちからは、「弱小チームを優勝させるなんて、夢のまた夢。いかげんにしてほしい。」とまで言われた。誰一人優勝しようなんて本気にしてくれず一人ぼっちになってしまった。まさに(1)の状態で、彼女はすっかり、(2)し、マネージャーをやめようとして考えた。

しかし、彼女はあきらめなかった。野球部を強くするにはどうしたらいいのか、チーム改革に取り組んだ。手がかりを求めて(3)の日々が続いた。そんな彼女が(4)する姿に心を動かされ、練習に取り組む部員も現れた。ほかの部員も「優勝なんて無理だ。」と思いつつも、練習に必死で取り組んだ。練習方法も(5)を繰り返し、やっと満足な練習ができるようになった。

とうとう彼らは、夢にまで見た全国大会に出場した。順調に勝ち進み、いよいよ決勝戦を迎える。彼らは胸をはって正々堂々と戦った。2対1で負けていたが、9回の裏に(6)のホームランが出て見事逆転した。無名のチームがたった1年で優勝するというできごと日本中の人が驚いた。この快挙を成し遂げたマネージャーの彼女をはじめ部員たちに、会場からは惜しめない拍手がおくられた。

(1)①～③にふさわしい四字熟語をあとの口から選んで、記号で書きなさい。

- ① ( ) イ ( )
- ② ( ) ウ ( )
- ③ ( ) オ ( )

ア. 誇大妄想	イ. 孤立無援	ウ. 意気消沈	エ. 一念発起	オ. 暗中模索
---------	---------	---------	---------	---------

(2)④には、「孤軍奮闘」という四字熟語が入ります。意味を説明しなさい。

だれにも助けってもらわずに、一人で努力を続けること。

(3)⑤には、「失敗を重ねながら目標に近づいていく」という意味の四字熟語が入ります。( )に漢字二字をあとの口から選んで書き入れなさい。

( ) 試行 ( ) 錯誤

志向	思考	試行	施行
----	----	----	----

(4)⑥に入る次の四字熟語の( )には、反対の意味を表す漢字が入ります。ふさわしい漢字を入れなさい。

起 ( 死 ) ( 回 ) ( 生 ) ( )

(5)⑥の四字熟語を使って、短文を作りなさい。

サッカーの試合であと2分を残し、1対0で負けていて、もうだめだと思つたところ、起死回生のゴールが出て、点に追いつき、延長戦となった。

## 課題2 文章の表現のしかたや特徴に注意しながら読む。

二. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

曇と月と太陽がいつしよに旅に出ました。  
宿屋に泊まり、次の朝、曇が目をさますと、月も太陽もいません。  
宿屋の者に、  
「月と太陽はどうした？」  
とたずねると、  
「月様も太陽様も、晴いうちにおたちになりました。」  
とおしえてくれました。すると、  
曇は、  
「月日がたつのは早いものだ。」

(1)この文章のおもしろさについて説明した次の文の( )にふさわしい文章やことばを書き入れ、完成させなさい。

「月日がたつ」ということばに、月様と太陽様が( )  
( 出発した ) が過ぎ去るのは早いという二つの意味をかけているところがおもしろい。

### 出題の趣旨

- 学習指導ツール「ワークブック」グループB
- ③同訓異字シリーズ (No.301～310)
  - ④四字熟語シリーズ (No. 046～055, No.161～170)
  - ⑧ことわざシリーズ ことわざ1～10 (No.076～085)

・表現に注意して読み、内容を理解し、適切な四字熟語を選ぶことができるか。  
・文章から四字熟語の意味とらえ、それを使って文を作るができるか。

### 【解答例】

(1)①イ ②ウ ③オ

(2)文中の「たった一人」「あきらめず」、「チーム改革に」取り組む「から」、「孤軍奮闘」の意味を推定できていれば正解とする。

「孤軍奮闘」…支援する者が不在中、一人で懸命に戦うこと。また、一人で難事業に向かつて鋭意努力すること。  
(三省堂「新明解四字熟語辞典」より)

(3)試行

(4)起(死)回(生)

(5)意味の通る文であれば正解とする。意味を文章全体から類推することとをわらっているので、表記の誤りがあつても正解とする。

「起死回生」…崩壊や敗北などの危機に直面した状態を、一気によい方向に立て直すこと。絶望的な状況を立て直し、一挙に勢いを盛り返すこと。  
(三省堂「新明解四字熟語辞典」より)

学習指導ツール「ワークブック」グループA  
⑥小ばなしシリーズ (No.026～035, No.181～190)

### 出題の趣旨

・表現の仕方に注意して読み、内容について読み取ることができるか。

### 【解答例】

(1)出発した時  
・「出発する」と同意の言葉(例えば、その場を去る)でも正解とする。「時」の他、「時間」でも正解とする。

三、次の文章は、「徒然草」という古典の文章とその現代語訳です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

**A** 徒然草「第五十二段」

仁和寺にある法師年寄るまで石清水を拝まざりければ心うく覚えてあるとき思ひたちてただ一人徒歩より詣でけり。

極楽寺・高良などを拝みてかばかりと心得て帰りにけり。

きてかたへの人にあひて「年ごろ思ひつること果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて尊くこそおはしけれ。そも参りたる人ごとに山へ登りしは何事かありけん。ゆかしかりしかど神へ参るこそ本意なれと思ひて山までは見ず。」とぞ言ひける。

少しのことにも先達はあらまほしきことなり。

**B** (現代語訳)

仁和寺にいた僧が、年をとるまで石清水八幡宮をお参りしたことがなかったので、残念に思われて、ある時思い立って、ただ一人で徒歩で参詣した。ふもとの極楽寺や高良大明神などを拝んで、これだけのものと思ひ込んで帰ってしまった。

帰って仲間の人に向かって、「長年の間思っていたことを、成しとげました。前々から聞いていたのにもまさって、尊くあられました。それにしても、参詣に来た人々が皆山へ登っていったのは、山の上にも何事かあったのでしょうか、私も知りたかったのですが、神に参拝することこそが、山の上までは登ってみませんでした。」と言ったのだった。ちよつとしたことにも、その道の指導者はあってほしいものです。

**C** 何事も事前に確認を

大阪 花子

私は、以前からさくら町の納涼花火大会のファイナルがとてきれいだと聞いていて、やっと今年出かけました。

たくさんの方が会場に集まり、花火を楽しんでいました。空が真っ赤になるほど大きな花火が続けて上がって、それからしばらくは花火が上がりませんでした。他の人が帰らないのは何かあるのではと思いましたが、もう終わりだと思って、帰りました。

次の日の新聞で「庄巻のファイナル、空一面真っ白のさくら町花火大会」という記事が出ていました。ちよつとしたことでも詳しい人に聞いておけばよかったと思いました。

(1) Aの1部の文章を音読します。Bを参考に、文章中の適切な位置に句点を打ちなさい。

(2) Bの□に入る言葉を考えて書きなさい。

目的であったので

い。(3) 山田さんは、新聞でCのコラムを見つけました。AとBとCを読み比べ、文章構成の共通点、内容の共通点を簡潔に書きなさい。

○文の構成の共通点は、4段落構成から全体ができており、3段落目までは、事実が書かれていて、最後の段落で事実に対する筆者の考えがまとめられている。

○内容の共通点は、疑問に思ったことがあったにもかかわらず、人に聞いたり教えてもらうことをせず、にいたところ、大切なことを見落としてしまったということ。

学習指導ツール  
「ワークブック」  
グループB  
⑩古文シリーズ  
(No.096~100, 281~300)  
⑪古文シリーズ  
(2ndステップことば編)  
(No.571~620)

出題の趣旨

・二つの文を比較しながら読み、共通点について読み取った事柄を説明できるか。  
・表現の仕方に注意して読み、内容について読み取ることができるか。

【解答例】

(1) 上記Aの文中のとおり  
現代語訳を参考に古典の文章を読み取り、意味の通るように句点が打てていれば正解とする。

(2) 目的であったので  
同じ意味であれば正解とする。

(3) 文章構成について次の3点が述べられていれば正解とする。  
・4段落あること。  
・事実(第1~3段落)と意見(第4段落) // おちこで構成されていること。

内容について次の3点の内容が述べられていれば正解とする。  
・疑問に思ったことがあったこと  
・人に聞いたり教えてもらっていないこと  
・大切なことを見落としてしまったこと